

キャラクター名
夜渡 空

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ パロール	ワークス	高校生	カヴァー	高校生
オプション		年齢	16	性別	男
覚醒	償い	衝動	飢餓	初期侵食率	32 %
出自	父親不在	経験	ニュース	邂逅	友人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	0	1	0			1	行動値	11
感覚	4	0	0			4	(非装備時)	11
精神	3	0	0			3	戦闘移動	16
社会	1	0	0			1	全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志	1		調達	2	
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
斥力の矢	射撃	4r		Lv*2		
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: 噂好きの友人	
怪盗用ツール	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
光使い-ライトプリンガー	P	N		
神田 徹	P 感服	N 食傷		
深海 怜矢	P 友情	N 不安		
姫河 奏	P 庇護	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
CR:エンジェルハイロウ	2	2						
効果:								
陽炎の衣	2	3						
効果:								
見えざる死神	3	2						
効果:								
斥力の矢	1	2						
効果:								
マスヴィジョン	2	4					100	
効果:								
時の棺	1	10					100	
効果:								
鏡の盾	2	8					100	
効果:								
光の指先	2	2					D	
効果:								
スポットライト	1							
効果:								
天使の外套	1							
効果:								
吸着	1							
効果:								
屑鉄の橋	1							
効果:								
ディメンジョンゲート	1	3						
効果:								

(ヨワタリ ウツホ)
大路川高校二年三組、帰宅部、成績は中の下。身内や知り合いにはフランクだが、他人を無意味に警戒する癖がある。手品なんか得意でよく神田さんの孤児院にお邪魔して子供たちに披露している。オーヴァードに覚醒しているがレネゲイドの知識はない。

オーヴァードに覚醒したのは二年前、奏が誘拐されかけた時に、それを助けるために覚醒。その後しばらくして、「自分は空っぽで何も無い、少しでもそれを埋めていたい」という衝動に襲われる。はじめは耐えていたが、限界はすぐ訪れた。能力を使い、近くの美術館から一枚、絵画を盗んだ。一度やってしまうともう止まらなかった。そんな自分が嫌だった。せめてもの自分への抵抗として、何かを盗むとき、予告状を出すことにした。そうすれば、誰かが止めてくれると信じて。きっとこれは、自分じゃ止められない。しばらくそんなことを続けると、ネットや報道で自分が「クレプトマニア」と呼ばれていることに気が付いた。

能力を使うとき、魔眼で仮面を創り出して顔に嵌める、そうすることで、「クレプトマニア」としての恰好に変身することができ、通常よりうまく能力が扱えるようになる。(光で作っただけの姿なので装甲などはないそしてこれが「光使い」の恩恵)
能力を使い、魔眼で創り出した黒い弾丸を銃の形に組んだ手の人差し指から撃ち出す。変身時に纏うマントをディメンジョンゲートとして使うもしくは、身体を覆い、その間透明になる。触れた物と物を強力な磁石のようにつく付ける。など、さまざまの事が出来る。

自分が「クレプトマニア」だという事は誰にも話していない。誰かが自分を止めてくれるまで、きっと俺は……

「やあ諸君！今日もご苦労だった、いや、実に楽しかったよ！それでは、またいつか……(ディメンジョンゲートで退場)」
「なあカナデー、今日オマエんち行っていいか？昨日面白そうな芸思いついてさ！絶対ガキどもびっくりするぜ！」

